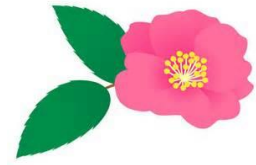


長久会グループホーム便り



寒さが日に日に増してきましたが、体調はお変わりないでしょうか。

さて、ウエルムどど町では10、11月に加賀こころの病院職員を対象にした見学を行ったのでご報告します。

現在、加賀こころの病院では、長期入院されている方の退院に向けて様々な取り組みを行っています。取り組みに向けた話し合いの中で、病院職員自身が地域にどのようなサービスがあるのかを十分に把握していないのではないかという話が出ました。支援する職員がきちんとサービスを知らないでご本人の生活に添った退院支援が出来ないため、まずは職員がきちんと知ろうということで見学が行われました。

見学の際には、「意外と静かなんですね」という感想が聞かれ、グループホームがどんな場所なのかをイメージしていた方は最初のイメージとの違いを感じたようでした。質問では、金銭管理や食事などはどうしているのかといった日常生活に必要な内容



が多く、それに対し1人1人のもっている力やしたい生活に合わせた支援をしていることを説明しました。

病院職員が、どんなサービスがあるのか、障害を持ちながら実際にどのような暮らしをしているのかを知ることで、ご本人の退院後の生活がイメージしやすくなり、退院に向けての支援にもつながっていくと良いと思いました。また、入院しているご本人自身も退院後イメージ出来ない、自信がないなどといった不安を持たれているため、退院後どのような生活ができるのかをご本人がイメージできるような場をもてることも大切だと思います。



今回の受け入れを通して、長久会グループホーム事業所として見学を受け入れるだけでなく、当事業所からも病院に出向き、ご本人のしたい生活を聞く中で、どんな支援が出来るのかをご本人と病院職員と一緒に考えていくことも必要であると考えています。



ご質問・ご不明な点などありましたら、
お気軽にご相談下さい。

長久会グループホーム事業所

加賀市百々町3-11-1

ウエルムどど町

担当：林田・大石